

香川県高齢協グループ機関紙

2025年 第234号 (7・8月号)

香川県高齢者生活協同組合/社会福祉法人ひだまり福祉会/一般社団法人香川県高齢者支援協会

ひだまり



ひだまり生協

香川県高齢者生活協同組合



〒761-1705 高松市香川町川東下 1190-1

TEL 087-899-6311

<http://www.kagawa-koureikyou.org>

FAX 087-899-6312

(組織状況) ●組合員数 2,656 名 ●出資金額 17,587,000 円(2025 年 5 月末現在)

通常総代会 & 交流会

さる 6 月 22 日(日)、丸亀町レッツホールにて「第 27 回通常総代会」が開催されました。

スローガンは「紡いでいこう!」つながる力とひろがる未来 香川県高齢協グループ『3 本の轍』全ての人が尊厳を持って、共に生きる地域社会を創ろう!」。

すべての議案が全会一致で承認され、これまで通り福祉、仕事おこし、生きがいの各事業をブラッシュアップするとともに、新しい社会福祉法人を加えた 3 つの法人格の特性を生かしながら、香川県高齢協グループ全体として最大限のパフォーマンスを発揮していくことを確認しました。

今回の総代会には平井卓也衆院議員、池田豊人香川県知事、大西秀人高松市長、福永智也香川医療生協常務理事も多用のなか出席され、心温まるメッセージと、未来に向けた力強いエールを祝辞として頂きました。

また総代会終了後には、レガロに会場を移し、社会福祉法人の設立を祝う交流会を開催。和やかな雰囲気ながら、高齢協の未来を語り合う力強い姿があちこちで見られました。



仲間を募集しています。

◎ 草刈り、植木の剪定、剪定のお手伝い、引越し手伝い、廃材処理

◎ 登録して頂くと、あなたの時間、

できることを誰かのためのサポート側として活躍してみませんか。

◎ 年金プラスαの収入を得る働き方をめざします。

◎ 仕事の依頼もご相談下さい。

仕事おこし事業部

☎080-2990-4586 (森岡)

2025 年 第 27 回通常総代会・第 11 回定時社員総会の開催報告

令和 7 年 6 月 22 日(日) 14:00~第一部 通常総代会 17:00~第二部 交流会

2025 年香川県高齢者生活協同組合の「第 27 回通常総代会」が高松丸亀町壱番街東館 4F 丸亀町レッツホールにて開催されました。出席総代数 総代 101 名中 本人出席 35 名、委任代理人出席 2 名、書面議決権行使出席 46 名 合計出席者 83 名。

今回の総代会には、衆議院議員 平井卓也様、香川県知事 池田豊人様、高松市長 大西秀人様、香川医療生活協同組合常務理事 福永智也様が来賓として挨拶をされ開式となりました。

その後、総代の中より議長に大原幹夫氏、副議長に二宮久美子氏が選出され、定款第 57 条により本総代会は、成立要件を満たしていることを確認し、議案審議に入りました。

- 議案提案
- 第 1 号議案 2024 年度活動報告
 - 第 2 号議案 2024 年度決算報告
 - 第 3 号議案 2024 年度監査報告
 - 第 4 号議案 2025 年度活動方針
 - 第 5 号議案 2025 年度収支予算
 - 第 6 号議案 規定・規約改定の件
 - 第 7 号議案 役員(退任に伴う)選任の件
 - 第 8 号議案 役員報酬限度額設定の件
 - 第 9 号議案 議案効力発生の件

結果、上程された全ての議案が全会一致により承認されました。香川県高齢者生活協同組合、社会福祉法人ひだまり福祉会、一般社団法人香川県高齢者支援協会の 3 つの法人格がその特性を上手に生かしつつ、最大限のパフォーマンスを発揮することで「香川県高齢協グループ」の存在感の構築を目指します。



**利用者様
募集中!**

**デイサービス
香川ひだまり**

見学・体験 大歓迎 です!

手作りの昼食無料提供いたします

〒761-1705 高松市香川町川東下 1190-1

月～土曜日 10:00～15:30 TEL 087-889-5011

なお今総代会で承認された方針に基づき、役員一同、決意新たに邁進していく所存ですので、今後とも
ご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます

記

「役員(理事 16 名、監事 3 名)」

理事長	池田 章子(代表理事)	理 事	伊賀 昌吾(同)
理 事	松本 静香	理 事	善林 功
理 事	眞鍋 良彦	理 事	河井 徳夫
理 事	川西 純一	理 事	宮本 明美
理 事	宮川 芳幸	理 事	堤 敬介
理 事	宮崎 孝夫	理 事	木村 文宣
理 事	佐藤 春美	理 事	天雲 庫三
理 事	奥山ひろみ	理 事(員外)小林 俊介(新任)	
監 事	杉本 知美	監 事(員外)白石 光央(新任)	
監 事(員外)篠崎 文雄			

以上

引き続き、一般社団法人香川県高齢者支援協会 第 11 回定時社員総会(令和 7 年 6 月 17 日開催)
の説明会で、すべての議案が全会一致で承認されたことが報告されました。



通所・泊まり・訪問 すべて使える♪
利用者様・介護職員 募集！
小規模多機能型居宅介護
ひだまり川島
〒761-0443 高松市川島東町925-1
TEL 087-848-2877
明るいまんが待っています！見学も大歓迎！

ひだまりの *Wa!!*



銭太鼓やうちわ体操で施設利用者の楽しい時間を演出 山地満里子さん

銭が触れ合う音を利用した“銭太鼓”。古くから伝わる民俗楽器で、山地さんは約 25 年のキャリアを持つベテラン演者。発表会での雄姿がたまたま香川高齢協関係者の目に留まり、香川ひだまりやひだまり川島のレクリエーションに取り入れられ、いまではこれを楽しみに待つ利用者も多いという。

各施設とも月 2 回程度慰問し、曲に合わせて銭太鼓の手ほどきをアドバイス。「簡単そうにみえて適度な体力とリズム感を要しますので、福祉施設のレクリエーションには非常に向いています。利用者さんが踊りやすいようアレンジして、最初はごちなくとも、回を重ねるごとに皆さん上達され、音楽に合わせて一つになって楽しい時間を過ごしてくれることが何より嬉しい」と目を細め、帰りの道中では「皆さんから逆に元気をもらって、いつも私自身がとても幸せな気持ち、嬉しいになれます」とほほ笑む。慰問時には銭太鼓のほか、うちわ体操や大小の傘踊りなども組み込み、利用者が飽きない工夫も怠らない。

そもそもは中村元理事長の知己であったことから香川高齢協との縁がスタート。かつてはコーラスやさんぽ会など生きがい事業部の同好会活動にも属し趣味の世界を広げただけでなく、4 年にわたって本部の理事も勤め上げるなど、草創期の香川高齢協の発展に寄与してきた功績も忘れてはならない。

趣味はコーラス。ただ唄うだけでなく、その仲間たちと食事会をしたり、季節の植物を見に行ったりと、「皆さんとの時間、絆は私の宝物」とニコリ。「主人はもっぱら留守番です」と笑うが、そのご主人と毎年連れ立って、横浜に住む次男を訪ねることも何よりの楽しみであり、日々の活力の淵源でもある。

「“教育”と“教養”を、私は“今日行く”ところがある、“今日用”がある、という風に解釈しています。ヒトは動くことで発見があり、発見があることで、また次に動くきっかけになると思っています。元気な限り、常に目標を持って臆せず行動したいですね」と言い切るさまは、まさに高齢協の理想を地で行く姿だ。



警備していただける人（未経験者大歓迎）を募集！

急募

未経験者でも大丈夫です 丁寧にご指導いたします。
皆さん！ すぐに、活躍できますよ 初任者研修後

*組合員の皆さまも、ぜひともお近くのお知り合いの方をご紹介下さい

制服貸与 勤務地、勤務日は、相談可 兼業も OK！

いつでも、お気軽にご連絡ください。

警備事業責任者川西 ☎080-2851-4338 又は、本部 ☎087-899-6311 まで

あなたを守り隊手帳

丸亀町クリニック通信 ③

「心太」

ある休日、「ところてんが食べた
い!」…少し早い猛暑のせいか、衝動
的に思いが込み上げてきました。

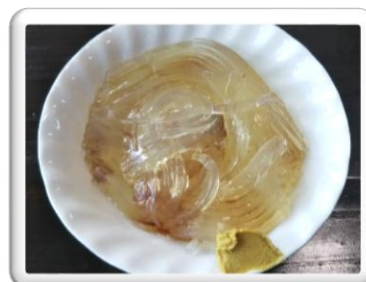
思い立ったら即行動の精神を目標
とする? 私は、車を西に走らせました。
行き先は「清水屋」さん、八十場にあ
るところてんの超有名店です。



訪問は学生時代以来、実に40数年
ぶりです。確か79番札所「天皇寺」の
裏あたりだったはず…記憶をたどり
ながら車を西に走らせます。(こうい
う時にはわざとナビは使いません)

33号線を左折、天皇寺に到着、美

しい三輪鳥居が出迎えてくれました。
お寺の前に清水屋さんの案内板が
あったのですね! 発見。やっぱり旨い!
昔から湧き出る水が旨さの秘密だ
そうです。来てよかった! 大満足でし
た。



ここで「ところてん」について…カ
ロリーはほとんどなく、腸内環境を整
える水溶性食物繊維と腸の運動を活
発にする不溶性食物繊維の両方の性
質を持っていて便秘の解消に役立つそ
うです。さらに水分を吸収して膨らむ
ため、食前に食べると満腹感が得られ、
カロリーコントロールや食べ過ぎ防止に
も役立つそうです。

日本人の食生活では食物繊維が不
足しがちなため、ところてんのように
ほぼ0キロカロリーにも関わらず食
物繊維を摂取できる食品はありがた
い存在といえるかもしれません。

丸亀町クリニック 宮川 芳幸

「生きがい事業部」活動紹介

ボウリング同好会

ボウリング同好会の活動は、健康な
日常生活を送るため、ボウリング大会
を通じ明るく、楽しく体を動かすこと
を目的に毎月第二火曜日に大会を実
施しています。

ゲームでは、ストラスクやスぺアで喜
びを表し心身のリフレッシュをしてお
られるようで、みんな元気いっぱい。

参加者同士の会話も弾み楽しいひ
とときを過ごしています。

誰もが上位入賞できるよう、全員に
ハンディを設定して競技を行っており、
ボウリングで健康維持、仲間との会話
を楽しむ一日を過ごしています。同好
会への参加をお待ちしております!!
〇九〇四五〇一三四二三(木村)



訪問介護事業所ひだまりステーション

香川県高松市香川町川東下 1190-1

☎087-899-6314

利用者さんと登録ヘルパーさん募集中!

いつもの生活を送るお手伝いをしています



事業部

ふくし



香川ひだまり

香川ひだまりでは、季節ごとに野菜の栽培を行っています。

今回は、キャベツの収穫を行い、立派に成長した大きなキャベツに皆さん驚かれました。

収穫したキャベツは施設の食事に使わせて頂き、取れたてのお野菜は新鮮でおいしと皆さん喜ばれていました。



ひだまり川島

ひだまり川島では窓の横で家庭菜園を行っています。前はネギだけでしたが、今はネギのほかにトウモロコシ、菊芋、丘わかめを栽培しています。



ネギは味噌汁の中に入れて食べています。丘わかめは熱を通すと粘りがあり、触感には海藻わかめのような触感で美味です。トウモロコシと菊芋はそれぞれが競争するかのようにすくすくと元気に育っています。暇さえあれば、毎日野菜の成長を観察し、食べられる時期を楽しみに話しています。

午後からのレクリエーションは利用者さん全員が力を合わせて行い、歓声が上がること多く、スタッフも一緒になって楽しんでいます。それに伴い、

ご近所様から施設が明るくなったと言っている事もあります。

笑顔が絶えない施設を目標に頑張っています。お時間があれば、いつでもお立ち寄りください。



第2回ひだまり親睦麻雀大会

第2回ひだまり親睦麻雀大会がさる6月21日(土)、12名参加のもとひだまりサロンにて開催されました。

昨年初開催し、好評だった同大会。

今回は女流雀士(青山さん・吉田さん)の参戦で男性陣にはプレッシャーの



かかる大会となりました。白熱した頭脳戦の結果、戦前予想の陰の実力者・山本光重さんが優勝。準優勝に八木学さん、3位に嶋岡敏信さんと続き(役満賞なし)、惜しくも前回優勝の谷秀夫さんの連覇はなりませんでした。3回目となる次回の大会は12月の開催を予定しているということです。



なおひだまりサロンは『平井卓也奉仕会』の寄付金によって運営。ひだまり麻雀会の津田博三会長は『百聞は一見に如かず』。麻雀の楽しさを一人でも多くの方に体験していただきたい。また、ひだまりサロンの見学もお待ちしています』と呼びかけています。

〇九〇二八九五―三三四七(津田)

エッセイ



イルカの冒険

今年(2025年)の三月末頃、さぬき市津田町にある日本ドルフィンセンターから一頭のイルカが逃げ出した。

たまたまその三日前にイルカの芸を見るために親しくしている仲間と、そのセンターに行つて来たばかりだったのだが、イルカ逃走のニュースは数日後の新聞で知った。なので、我々が行ったときは既に逃げ出したあとだったようだ。

当日は、風が強くてイルカの泳ぐイクスへの浮き桟橋は右に左にと荒波で揺れていて、高齢者が歩いて行ける状態ではなかった。残念な思いで土産物店の窓から飛び跳ねるイルカを皆で見えて歓声をあげた。

二頭ほどのイルカが指導員の合図を受けるたびに五〜八メートルの高さに飛び上がっていた。ふと、何故イルカは

そのまま大海に飛び出そうとしないのだろうか？飛び上がる角度さえ変えればたやすくイクスから外へ出られるのにと、不思議に思った。イクスはそれほど大きくはないので、イルカには飛び上がるたびに外の海が見えていたはずだ。

イクスの中のイルカたちは、太平洋のどこかの入り江に追い込まれ、捕らえられてここに来たとはいえないから、心の中は「井の中の蛙(かわず)」で一生終わりたくないと思郷の思いでいっぱいだったのではないだろうか。

いずれにせよ、狭いイクスの中で生涯を終わりにたくないという強い思いを抱いた一頭のイルカがこの日、ついに行動を起こしたと私には思えた。

しかし、残念ながら、逃げ出して一週間もしないうちに小豆島のエンジェルロードの沖合で捕らえられてしまった。奇縁なことに捕らえられる二日前、私は東京から帰省していた娘家族と一緒にエンジェルロードを歩いていた。二五キロ余り泳いできたイルカはその日、我々のすぐ近くをさまよい泳いでいたことになる。

イルカは哺乳動物で特に音には敏感な生き物だという。そこに至るまでの海域には漁船はもちろん巨大タンカーやフェリーなど数多くの船舶がひっきりなしに航行している。イルカはそれらの船の様々なエンジン音に悩まされながら横切ってきたことになる。

センターの職員が駆け付けて名前を呼んだところ、近づいて来たことから、逃げ出したイルカに違いないと確信したらしい。センターからイクスを引いて来て、いつものように名前を呼びながらエサを与え、それを素直に食べるたびに褒めるなどして気持ちを落ち着かせ、最後にイクスに誘いこむまでに二日もかかったようだ。

しかし、せっかく上手く逃げ出せたのに、何故そのイルカはそのまま逃げたしまわなかったのだろうか。イルカは団体で行動するというから、独り身が寂しくなったのだろうか？それともセラピーで訪れる可愛い子どもたちを失望させてはならないと帰る決心をしたのだろうか。

私にはイルカにまつわる思い出が一つある。青函連絡船に乗っていた若

かりし頃、冬場は大荒れになる津軽海峡でも、穏やかな夏になるとイルカの群れが連絡船と競うようにして並航したもので、その光景が強く記憶に残っている。乗客たちの喜びも大きく、北国の一つの風物詩にもなっていた。逃げ出したイルカも、今はイクスの仲間たちと逃避行の自慢話をしているに違いない。



花火

一 ドンとなった花火 綺麗だな

空いっぱい 広がった

しだれやなぎが ひろがった

二 ドンとなった何百 赤い星

いちどにかわって 青い星

もいどこかわって 金の星

文と切り絵 萩原幹生

2025 年 7～8 月 行事案内

高松まつり「6000 発の花火」を海上から観覧しませんか？

■日 時 8 月 13 日(水) 北浜海鮮食堂 19 時集合 ■参加費 6,000 円(お弁当はありません)

～募集は先着 50 名。幼児は無料ですが、危険防止の観点から大人一人に付き一人まで。船酔いしやすい方は酔い止めを各自でご用意ください。駐車場はありませんので、公共交通機関でお越し下さい～

お問い合わせは、高齢協本部 ☎087-899-6311 または下記の二宮さんまで。

と一緒に楽しみませんか？

◆高松教室（高齢協本部）

◆ひだまり麻雀会 ☎津田 090-2895-3347

・毎週土曜日と月 1 回は水曜日



◆高齢協劇団「エルダーキャッツ」(13 時 30 分～16 時 30 分)

・毎週日曜日 木太コミュニティセンター

☎小西 090-1003-8568

◆讃木会 ☎三宅 090-7141-7297

◆ボウリング同好会 ☎木村 090-4501-3423

◆ダンスを楽しむ会

・毎週金曜日(13 時～15 時) 木太コミュニティセンター

☎木村 090-4501-3423

◆麻雀を楽しむ会 ☎河井 090-2787-9963

・毎週月・木曜日(11 時 30 分～15 時)

◆詰田川自然農園 ☎新名 090-1001-1571

◆グルメと散策を楽しむ会 ☎二宮 090-4974-8457

◆さぬき満月会 ☎岡野 090-5273-1931

◆西讃地域センター

◆琴平・ダンス十八番(13 時～17 時) 毎月第 2 第 4 日曜日

ダンスパーティー(7/13・27、8/10・24、9/14・28)

☎日野 090-3188-1672

◆歌声「さつき」(13 時 30 分～15 時 15 分)

・月 2 回(7/10・24、8/7・14、9/4・25)

宇多津町保健センター(町役場隣)4 階

☎奥山 090-2825-8849

■ご意見・お問い合わせは各部会の代表または高齢協本部まで 高齢協本部 ☎087-899-6311



▼7 月号は薄い 8 ページでのお届けです。総代会開催後の発行につき、制作期間が短いためです。頑張ればいつもの 12 ページでも制作できましたが、無理はしないことにしました。何事も気を張らず、背負い込まずに、ゆるく頑張ることこそ長続きの秘訣かもしれません。若い頃は目先の損得に惑わされ見失いがちですが、生きていくうえで緩急の配分はとても重要と悟ったのは恥かしながら中老を過ぎてからです。▼前号にも掲載したように、西讃地域センターの宮崎統括センター長(理事)は歌声「さつき」や「ダンス十八番」のメンバー獲得に奔走されています。本紙は既存の組合員向けなので PR も限定的ですが、四国新聞や西日本放送ラジオといった一般媒体を積極活用し、地道に努力されている姿は敬服に値します。▼総代会のスローガンにも使われていた“3 つの轍”は、まさに言い得て妙です。昨年 6 月の承認から社会福祉法人設立に向けてキックオフし、12 月の認可、今年 4 月の始業と、紆余曲折の道程は未来への得難い財産となるでしょう。福祉業界では一般的な社会福祉法人格。ひだまり川島はこれまで通り香川高齢協の運営で、香川ひだまりやひだまり村が社会福祉法人に移行していますが、新組織となっても、利用者を想う気持ちやホスピタリティはこれまでと何ら変わるものではありません。これから生活協同組合、社会福祉法人、一般社団法人がそれぞれの特性やメリットを生かし切れば、香川県高齢協グループとしてかつてないパフォーマンスの発揮に繋がっていく期待感が膨らみます。晴れの船出に幸あれ(SH)